



みどり市

2009

5月 5日

NO.11

議会だより



草木ダム(東町)

草木ダム建設は、当時の東村が始まって以来の大事業であり、これを機に大きく変革するきっかけになりました。草木地区を主に、住民230世帯の移転について合意がなされ、昭和52年4月に完成しました。下流の洪水被害を軽減し、また都市部への水道用水供給、工業・農業用水の補給など、国民生活の礎として活用されています。

平成15年独立行政法人水資源機構「草木ダム」として新たにスタート。治水・利水の目的に加え、水源地域である山村の活性化に役立てていくとした新たな目標が設定されました。

平成21年第1回定例会(3月)

<主な内容>

一般議案・補正予算・請願	2~3
委員会報告	4~6
総括質疑	6~9
一般質問	9~19
まちの声	20

平成21年第1回定例会

平成21年度一般会計予算 169億9700万円を可決

3月定例会が2月24日から3月19日までの24日間にわたって開会、平成21年度の各会計予算、平成20年度補正予算等61件の議案が上程され、慎重審議の結果、原案の通り可決・承認されました。定例の初日には市長の施政方針が示され、一般質問では16名の議員が市政を問いました。

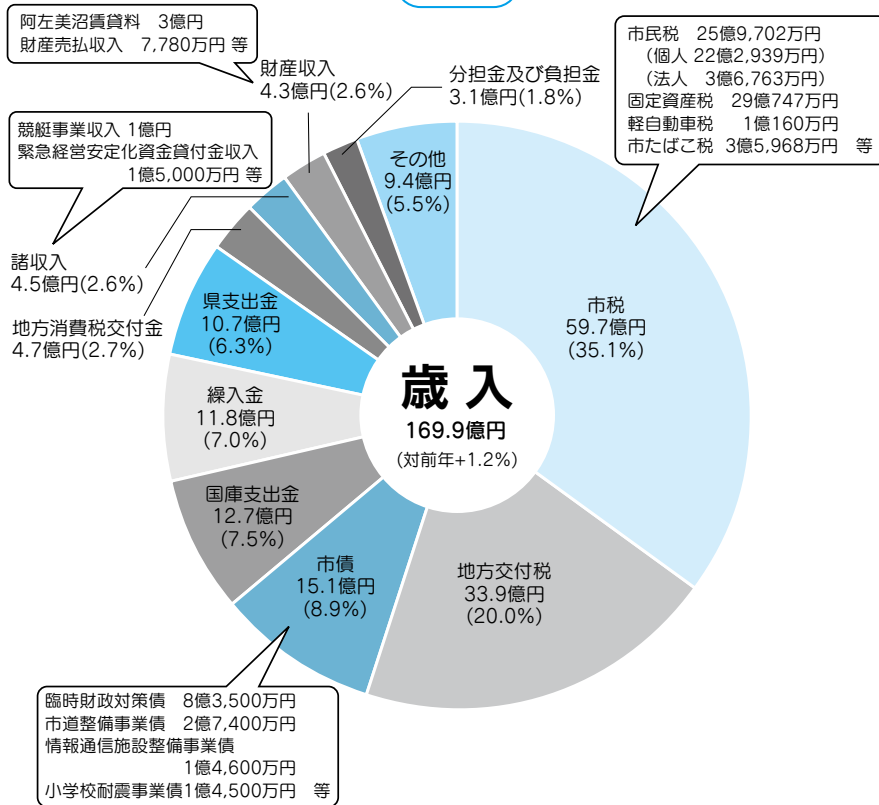
審議結果

可決、承認された61議案は次のとおり

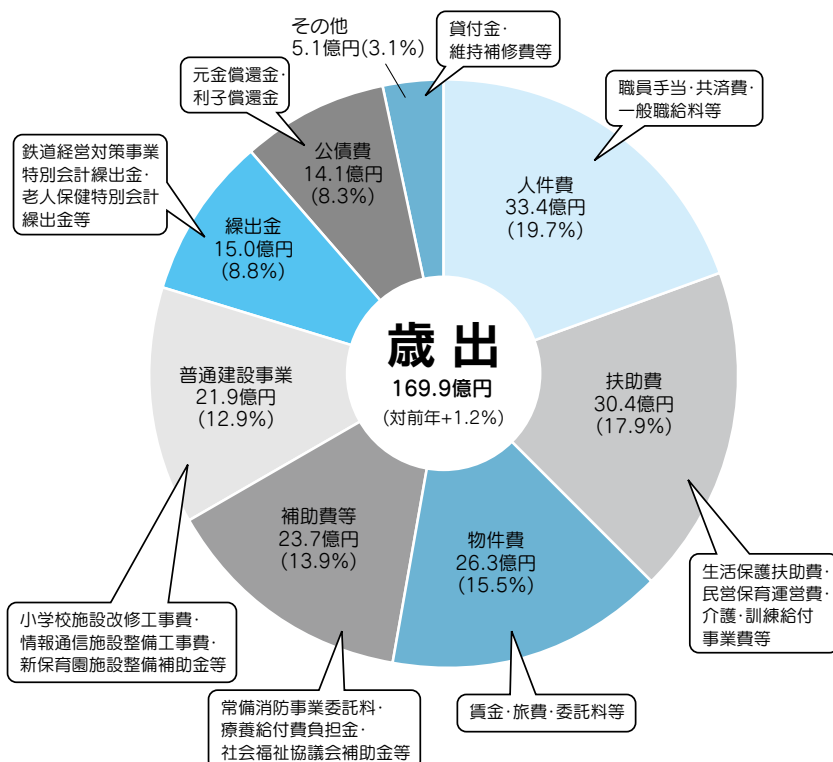
- ◆ 専決処分の承認
- ◆ 個人情報保護条例の改正
(適正な管理)
- ◆ 認可地縁団体印鑑条例の改正
(主たる事務所)
- ◆ 報酬費用弁償支給条例の改正
(防犯委員会、副区長)
- ◆ 職員の勤務時間、休暇等の改正
(7時間45分)
- ◆ 職員の育児休業等の条例改正
(範囲内の時間)
- ◆ 職員の給与条例の改正
- ◆ 消防団の条例の改正
- ◆ 特別会計設置条例の改正
- ◆ 国民健康保険税条例の改正
- ◆ 国民健康保険税条例の改正
- ◆ 国民健康保険税条例の改正
- ◆ 福祉医療費支給に関する条例改正
- ◆ 学童保育所条例の改正
- ◆ 保育園条例の改正
- ◆ 介護保険条例の改正
- ◆ 介護従事者処遇改善臨時特例基金条例
- ◆ 公共物使用等に関する条例の改正
- ◆ 下水道条例の改正
- ◆ 戸別浄化槽の整備に関する条例(維持管理)
- ◆ わらべ工房条例の改正
- ◆ 黒坂石バンガロー・テント村条例の改正
- ◆ ふれあい学習館条例
- ◆ 市道の路線認定
- ◆ 農業共済事業の無事戻金の変更
- ◆ 農業共済事業の事務費の賦課
- ◆ 農業共済事業の損害防止の特別積立金取崩し
- ◆ 平成20年度一般会計補正予算
- ◆ 同鐵道経営対策事業特別会計補正予算
- ◆ 同国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算
- ◆ 同国民健康保険(診療所勘定)特別会計補正予算
- ◆ 同老人保健特別会計補正予算
- ◆ 同後期高齢者医療保険特別会計補正予算
- ◆ 同介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算
- ◆ 同介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計補正予算
- ◆ 同簡易水道事業特別会計補正予算
- ◆ 同富弘美術館事業特別会計補正予算
- ◆ 同下水道事業特別会計補正予算
- ◆ 同水道事業会計補正予算
- ◆ 同農業共済事業会計補正予算
- ◆ 同国民宿舎事業会計補正予算
- ◆ 平成21年度一般会計予算
- ◆ 同鐵道経営対策事業特別会計予算
- ◆ 同国民健康保険(事業勘定)特別会計予算
- ◆ 同国民健康保険(診療所勘定)特別会計予算
- ◆ 同老人保健特別会計予算
- ◆ 同後期高齢者医療特別会計予算
- ◆ 同介護保険(保険事業勘定)特別会計予算
- ◆ 同介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計予算
- ◆ 同戸別浄化槽事業特別会計予算
- ◆ 同簡易水道事業特別会計予算
- ◆ 同農業集落排水事業特別会計予算
- ◆ 同下水道事業特別会計予算
- ◆ 同富弘美術館事業特別会計予算
- ◆ 同競艇事業特別会計予算
- ◆ 同水道事業会計予算
- ◆ 同農業共済事業会計予算
- ◆ 同国民宿舎事業会計予算
- ◆ 行政組織条例の改正(富

平成21年度 一般会計予算概要

歳入



歳出(性質別)



意見書の要旨

弘美術館、国民宿舎)
◆富弘美術館条例の改正
◆指定管理者の指定(第2
笠懸東学童クラブ)
「協同労働の協同組合(仮称)」の速やかな制定を
求める意見書の要旨
「協同労働の協同組合」
は働くものが出資しあい、

全員参加の経営で、仕事を行
う組織です。その中で、自分
たちの働き方に見合った法人
格がほしいと法律の整備を求
めてきました。少子・高齢化
社会に対応する有力な制度と
して、「協同労働の協同組合」
の速やかな制定を求めるもの
です。

請願

●生活品の物価高騰に対す
る緊急対策を求める意見
書採択についての請願↓
不採択
●全額国庫負担による「最
低保障年金制度」創設を
政府に求める請願↓不採
択
●汚染米不正流通の実態解

明とミニマムアクセス米
の輸入停止を求める請願
↓不採択
●燃料、肥料、飼料、農業
資材等の価格高騰に対す
る緊急対策を求める請願
について
経済建設常任委員会に付
託↓不採択
●「協同労働の協同組合
(仮称)」の速やかな制

定を求める意見書に関す
る請願書について
経済建設常任委員会に付
託↓採択

委員会報告

予算特別委員会

予算特別委員会（武井清委員長）は、議長を除く全議員で構成され、一般会計他特別会計の新年度予算を3日間審査した。各課長等

から説明を受け、慎重に審査し、採決の結果、原案通り、可決すべきものと決した。

審査の中から一部を拾って

「歳入の保育所用地使用料750万円について」質

問。赤城、二葉、大間々の3保育所が新年度から公設民営から民営化に移行し、社会福祉法人柏から用地の使用料として、固定資産課税評価額の3%分を使用料として徴収し、市は地主へのこの契約によって地代を払うことになる。将来は、公有化をはかつていくと民生部長が答弁。

「生活保護支給事業3億4200万の支給世帯、人員の数は」の質問に福祉課長は、現在136世帯の内高齢世帯が82世帯、165人に支給。雇用保険切れや派遣切りによって資産がない場合、増えていく心配があると福祉課長が答えた。

「サンレイク草木運営費補助金2000万円について」

新年度から業務を全面的に委託方式に切り替え、市の職員を3人にし、コスト削減を図る方向が示された。再建に努力をし、補助金の執行には改めて議会に諮る、と説明。

「計画の甘さはないか」の間に、平成20年度の5000万円の投入時は3年で黒字化が図れると考えたが、売り上げの過大見積もりとなってしまう。新年度は現実には即したものにするとともに、これまでの固定費となっていた人件費を委託によって繁閑の調整が図れるにあわせた対応がとれることで抜本的な改革になる。

平成22年以降の運営をどうするか、平成21年度中に結

論を出していくと市長公室長等が答弁した。

「笠懸地区の学校給食の業務委託費5000万円とあるが、内容について説明を」の質問に、学校教育課長は、現在、笠懸の給食調理員は、正職員14人、臨時職員12人の一日26人体制で対応しているが、臨時職員は17人の登録がある。市の非常勤職員の取り扱い要綱に違反して一日8時間勤務の特例を認めてきたが、平成21年から改正しなければならなくなった。こうした状況に国が示しているのは業務委託方式だが、そうすると調理をそっくり任すことになってしまう。今いる職員の指揮のもとで指示命令系統は行政でできる方法となると、委託ではなく派遣方式が良いと考え、その方向で進めている。

常勤職を置く場合、定数条例等で限りがある。これが何年も続くということではないのでどうしても正職員を増やせない、と教育総務課長が答弁。

平成20年度 各会計の補正状況（3月補正）

一般会計	補正額	10億8237万7千円
	補正後の予算額	188億5297万2千円
鉄道経営対策事業特別会計	補正額	3300万1千円
	補正後の予算額	1億5239万5千円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	補正額	4715万1千円
	補正後の予算額	55億8776万5千円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	2億0484万8千円
老人保健特別会計	補正額	△8177万5千円
	補正後の予算額	6億1588万3千円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	補正額	8536万2千円
	補正後の予算額	28億7894万8千円
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	補正額	△261万2千円
	補正後の予算額	1575万1千円
簡易水道事業特別会計	補正額	△453万4千円
	補正後の予算額	7560万7千円
農業集落排水事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	7099万7千円
富弘美術館事業特別会計	補正額	△1817万3千円
	補正後の予算額	3億8292万4千円
後期高齢者医療保険特別会計	補正額	1759万5千円
	補正後の予算額	6億8218万3千円
下水道事業会計	補正額	△5015万0千円
	補正後の予算額	13億3595万1千円
競艇事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	668億5626万5千円
水道事業会計	補正額	△4204万3千円
	補正後の予算額	10億8457万5千円
農業共済事業会計	補正額	△197万7千円
	補正後の予算額	2億7717万0千円
国民宿舎事業会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	3億5400万0千円

総務文教 常任委員会

付託された議案

議案第10号 みどり市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

議案第23号 ふれあい学習館条例について

審査結果

2 議案に付いて審査の経過と、結果を報告。

議案第10号についての審議内容。

民生部より資料に基づいて詳細な説明。

委員 市と町村での一般会計からの繰り出し方に差があることが分かった。市になつて急に繰り出されなくなったが、不能欠損処理、未払い者に対する対応等、現実を直視してどう対策を取るかである。一般会計を含めて対策を取れることは取らないといけないのではないか。ここに来て国保税徴収分が上がると大変なことになる。国保税などセーフティネットのところにもお金を入れていかないと大変なことになると思う。も

つと財政出動してもよいのではないか。

副市長 社会的な状況はみどり市に限らず全国的なもので、基礎自治体の悩めるところである。一般の財源を投入して一時的にみどり市独自の制度を作ったとしても、市民の税金で賄うということは基本的なことで、他市との状況を見回しながら検討は今進めている。

総務部 条例そのものについて説明。

委員 来年も上げるということだが、秋頃から十分議論ができる機会を設けてほしい。

などの議論の中、採決を行い、多数により可決すべきものと決定した。

議案第23号 ふれあい学習館条例について

教育部 文化財課長説明。

質疑なしにより採決を行い、全員賛成により可決すべきものと決定した。

調査事項

①教育委員会の運営に関する点検・評価について

②富弘美術館条例施行規則について

③富弘美術館諮問委員会規則について

④富弘美術館長設置要領について

⑤デマンドバスの運行について

その他 みどり市「子どものケータイに関するアンケート」調査結果（概要）及び笠懸小学校規模に関する児童意見のまとめについて等の詳細な説明があり、それぞれに活発な意見交換がなされた。

民生福祉 常任委員会

付託された議案

議案第12号 みどり市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例について

議案第14号 みどり市立保育園条例の一部を改正する条例について

議案第15号 みどり市介護保険条例の一部を改正する条例について

審査結果

本委員会は、3月16日開催、第12号では、こども福祉医療費について、平成21

年10月からその助成対象を

中学3年まで、通院においても拡大するもので、賛成

全員で原案の通り可決すべきものとした。第14号につ

き、かねてより公設保育園の民営化は諮ってきた、今

回対象となる3園につき運営している社会福祉法人と

の協議が整った事で、賛成全員で原案の通り可決すべ

きものとした。今後の民有地の適正賃借、公有化を課

題とした。第15号では、保険料が限りなく上昇するの

か、後期高齢者医療制度を含め厳しい制度である。給

付と負担の関係上位法の一部改正に伴うもの等の意見

が出されたが、結果賛成多数で原案の通り可決すべき

ものとした。

付託された請願

請願第15号 生活品の物価

高騰に対する緊急対策を求める意見書採択についての請願について

請願第17号 全額国庫負担による「最低保障年金制度」創設を政府に求める

請願について

審査結果

前回より「継続審査」としたものである。第15号で

は生活品の物価の動向を見るなか、安定しているのでは、むしろ生活安定の国策

が求められる時である。本会議への問題提起は真摯に

受け止め有事の対応が、即求められるが現状での本請

願内容はいかがか等の意見を集約した。結果「不採択」とすべき委員が多数であ

り「不採択」とした。第17号では、現受給者と無拠出

での受給の整合制は計れるのか、制度では20兆円とも

試算される莫大な費用を要する財源の保証はあるの

か。非現実的であるとの意見、結果「不採択」の委員

多数であり「不採択」とした。他、ファミリー・サポ

ート・センター事業実施要綱の改正についての協議

経済建設 常任委員会

常任委員会

3月11日 競艇事業についての協議。場外発売場「ポートピア」の県内進出。広域発売の今後の動向。

3月12日 付託された議案と請願を審査。

付託された議案

議案第17号 みどり市公共物使用等に関する条例の一部を改正する条例について、可決すべきものと決定。

議案第19号 みどり市戸別浄化槽の整備に関する条例について、可決すべきものと決定。

議案第22号 黒坂石バンガロー、テント村の条例の一部を改正する条例について、可決すべきものと決定。

議案第25号 平成20年度みどり市農業共済事業における農作物（水稲及び麦）、畑作物（蚕繭）並びに園芸施設の無事戻し金の変更について、可決すべきものと決定。

議案第26号 平成21年度みどり市農業共済事業の事務費の賦課について、可決すべきものと決定。

議案第27号 平成21年度みどり市農業共済事業の損害防止に係る特別積立金取崩しについて、可決す

べきものと決定。

請願第18号 汚染米不正流通の実態解明とミニマム

アクセス米の輸入停止を求める請願、採決の結果、不採択すべきものと決定。主な反対討論の内容。三笠フーズが、工業用という事実を隠し、食用として転売したことに問題が発生した。国は、すでに

解明調査に乗り出し、その結果、三笠フーズ及び関連業者は、すでに法的な制裁措置を受けている。また、国は、再発を防ぐ努力をしている。ウルグアイラウンドの中の農業合意であり、これを直ちに廃止することは国際社会の一員として矛盾を含んでいる。また、国の貿易政策の一環であること。

請願第19号 燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰にたいする緊急対策を求める請願、採決の結果、不採択すべきものと決定。

主な反対討論の内容。燃料価格は、昨年の夏のピークを境に下がってきて

いる。肥料等の関係は、現在すでに国が免税措置対策を進めている。

請願第20号 「協働労働の

協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書に関する請願書採決の結果、採択すべきものと

決定し、意見書の提出を行う。

新年度施政方針に対する総括質疑

広和クラブ

武井清 議員

問 30項目の公約をした市長のマニフェストは、3

年たったが、実行された施策の自己採点についてどう考えているか。

市長 当初の公約と税の収納対策強化、子ども課の新設など就任以降行ったことが点数にどう影響するのか、自分で評価するのは難しいが66点、実質は63点、細かい点はホームページにのせている。

問 地域の情報化、光ファイバー、地上デジタル対策について、情報の過疎を考えると全地域の光ファイバーによるブロードバンドで結ぶことは可能か。何年を見込むのか。

市長 地上波デジタル放送は、2年以内に完全整備を

する。光ファイバーは順次やっていく。また、ブロードバンドは、国策の事業なので国交省と連絡を取り進めていく。

問 動物の高度救急医療センター構想の中、ペット関連施設誘致を推進するに当たり、市民ニーズを把握する意識調査をする考えは。また、そのことでの200

万円の予算計上なのか。

市長 地域に特色のある企業を誘致し、雇用を生み、税収をあげる発想。北関東地域を調査したいが、この予算ではみどり市内の調査になる。

問 用地について、鹿田山が阿左美周辺と伝えられているが具体的な構想は。

市長 今、ここにいうことではない。みどり市は緑も多く水も豊かであり癒しというキーワードを使い企

業誘致をする。便利でラインが繋がることを考えている。

問 進出企業の優遇処置は。市長 通常の工業団地、工場誘致と同じで、優遇は考えてない。話し合いで整理をしていく。

問 大間々町北部3小学校の小規模校対策について、生徒数の減少する中での統合の考えは。

教育部長 3校の児童数は100人を割り込み適正規模から大きく外れていると指摘されている。有識者でつくる適正規模検討委員会

が3校の今後の方針を慎重審議中なので、3月末までに意見をまとめ、4月下旬までに市教委に報告書を提出する予定、これを受けて今後の方針を出していく。

問 石田川流域調整池事業は、北関道を横断して、北

に進められている。笠懸地区の北に伸びるのか、水路幅は何m位か、久宮地域ではどの位のエリアの排水が可能か。

産業観光部長 笠懸地区の農地防災水路は、1mから1・5m位で、久宮地区は9haで、桐生伊勢崎線を横断し事業は終る。予定では、平成24年を目途にしている。

都市建設部長 石田川流域の河川改修事業と国営農地防災事業がダブって入っている。石田川流域河川改修事業の調整設置事業として行われている。調整区域は今年度完成予定である。調整設置事業は県の事業で、付属はみどり市が単独で雨水排水事業を行う。平成21年度から2ヶ年で伊勢崎県道まで予定している。

子育て支援に関して公園・広場などの環境整備について

須藤 健久 議員 子供たちが家の外で安心して遊べるような、子育て環境の確保・充実についての考え方と、みどり市内の公園や広場に十分な遊具が設置されているかを伺う。

市長 子供たちが野外で体験しながら成長できる環境づくりを理想としている。みどり市内には、遊具の整備された公園は少ない。地域の要望や、市民との相談により、安全で優しい遊具の整備された公園を計画する。

学校施設の耐震整備の進捗状況は みどり市における学校施設の耐震整備の進捗よく状況は、どの様になっているか。

市長 みどり市には学校が15校あり、校舎と体育館で54棟ある。そのうち26棟は耐震性を有する建物で、28棟は、耐震補強を要する建物である。

昭和56年（新耐震制度）以前の建物に対して計画的に耐震化を推進する。

大間々給食センターの建設について 大間々給食センターの建設予定地とその規模について伺う。

市長 大間々給食センターは、築後29年を経過し、老朽化している為に、平成22年度に別の敷地を選定し建築する。

に導入する。

みどり市新生クラブ

計画的なまちづくり

金子 實 議員

問 農業集落排水事業の代替事業で戸別浄化槽事業を実施し、市が管理する計画だが、全市を計画的に整備するのか、住民要望で整備するのか。

市長 全市域が対象であり笠懸町桃頭地区で農業集落排水事業が計画され中止になった経過がある。今後、経緯を踏まえて住民要望とトータルで考えていく。

問 戸別浄化槽事業の汚水放流先が道路側溝と思われるが、他の地域で個人が設置する合併浄化槽も側溝放流を認めるのか。

市長 大間々町は一部を除き雨水排水が整備され放流先が確保されている。笠懸町は河川等の放流先がなく、道路側溝が完備されていない状況にある。地域にあった処理方法が必要だ。

問 用途地域を検討しているとのことだが、指定の対象区域と種類の考え方は。

市長 平成20年度から用途指定に関する調査・研究作業はしているが、具体的検討はしていない。

問 策定中の都市計画マスタープランゾーニングと用途指定は密接に関連しているが、作業の進捗よく状況は。

市長 指摘のとおり用途指定は都市計画マスタープランを根拠として定めるもので、土地利用のゾーニングとは密接に関連してくる。並行して着手しており差異のないよう取り組んでいる。近く都市計画審議会の意見を聞く予定で、来年は住民説明会を開催し意見を聞きたい。

問 福祉センター設置場所について、一般質問で大間々市内の具体的場所について答弁があったが、合併時の経過からして事実誤認ではないか。

市長 一般質問では「あつたやに聞いている」との表現で答弁している。誤認した訳ではない。施設整備は付随するインフラ整備が必要で、利便性を充分配慮し

たい。

問 新聞報道によれば、連携推進市長会議が昨年12月25日に開催され、桐生市長は「年明けにも両市で行動計画を考える時期にきた」と発言しているが、合併に對し両市長にはかなりの温度差があるのでは。

市長 行動計画について特に発案があつたわけではない。桐生市長は、市長なりの政治的背景があつての発言と思う。

両市長の良好な関係はこれからも維持していくし、温度差は感じていない。行動計画のアプローチがあれば議会にも情報をオープンにしていきたい。

平成クラブ

予算に関する共通認識について

伊藤 正雄 議員

問 一般会計予算では、169億9000万円であ前年度対比1・2%増額である、県内5市では増額、減額7市であり積極予算となっている。市債残高では住民一人あたり、前橋市が42

万円、桐生市が32万円、みどり市が一番低く22万円である。しかし国民健康保険税負担が8・5%増、介護保険料負担は大間々地区・笠懸地区は5・3%増、東地区は14%増の改正が予定されている。予算編成の考えを。

市長 経済不況という中、経済対策として、増額予算を組ませてもらった。今後の社会保障費は上昇傾向がみうけられる、注意を払い計画的に進めたい。

問 基金は特別会計を含めて100億円位と一応安定している、みどり市は競艇事業という不安定財源をかかえており、経常経費が増加傾向にある事は心配される。

市長 基金はそれなりに積み立てをしているが、合併の交付税特別措置が切れる平成27年には歳入が10億円減少する事が見込まれ、今後厳しい予算編成となる経常経費の改善に取り組みたい。

問 税収が今年度は2億円弱の減収との見通しだが、

地方交付税との関係はどういう仕組になっているか。

市長 税収減が生じた場合、地方交付税で75%補填があると聞いているが国全体が減収の中、地方交付制度そのものがどう変わってくるか、不安がある。

公明クラブ

宮崎 武 議員

宮崎 石原市長があと1年の総決算をしていく1年と言う事で、本場に重要な1年間となってくる。特に要望する部分は、「古きを訪ねて新しきを知る」という着実な市政推進を標榜した施策になつてくる。住民の目線で推進いただく中、確認をしたい。

問 みどり市として地方分権のさきがけたる具体的施策は何なのか確認したい。

市長 この場で考えられるのは、パスポートセンター等の誘致などが考えられる。**宮崎** みどり市総合計画に則つて施策を打っていくことは重要な課題であるが、今ある市民注目の課題についての表現が無い事が気に

かかっている。たとえば、サンレイク草木の未来展望、笠懸小学校の分離問題、北部3校の統合問題、富弘美術館の未来展望、渡良瀬溪谷鐵道の未来展望など、今当面市民が注目をしている部分を何故重点課題の中に入れなかったのか。今ある足元を固めた上で、前へ進んでいくという部分はどうなのか、とも思っている。来年度も諸問題の解決に向けてもしっかり目を向けて取り組んでいただきたい。

重点課題についての質問

- ・生活習慣病予備軍に該当する方の減少に努める方策は。
- ・高齢者福祉タクシー事業の具体策。
- ・低所得者支援について。
- ・文科省の耐震化の指針に基づく耐震化の今後の予定。
- ・心身ともに健康で健全な青少年の育成の具体策。
- ・基本となる日々の正しいゴミ出しの実践とは何か。
- ・市民による自主防犯活動等の育成の具体策。
- ・経営課題である職員の能力向上の具体策等々。

力向上の具体策等々。**宮崎** さまざま確認したが、予算執行に当たっては慎重に推進していただきたい。

至誠クラブ

蓮 孝道 議員

問 動物医療産業誘致に関連して、サンレイク草木の一部をペット同伴型の宿泊施設としてはどうか。

市長 需要はあると思うので、今後必要があれば検討する余地は十分にある。

問 障害者の地域生活への移行や、就労を支援するとしているが、知的障害者の地域における受け皿づくりが急務ではないか。

市長 障害者福祉センターの機能充実と相談体制の強化を図りたい。機能面としては、センターの増築による受け入れ人数の拡大や精神障害者の受け入れが考えられる。相談体制としては、平成21年度から、指定相談支援事業所「くるみ」を新しい相談先として委託予定である。

問 さくらプランの実質的な人員削減を好機とし、教

育委員会として、正規教員を目指す若い人材を積極登用すべきではないか。

市長 これまで県内市長村では、臨時教職員の人材が不足していたため、マイタウンティーチャーの採用枠はありながらも配置できなかった。今後は小学校11名、中学校5名を配置し、該当校全校に配置する。

また、さくらプラン非常勤講師の配置はゼロになるが、マイタウンティーチャーや生徒指導サポーターなどに将来教職を目指す多くの人材を積極的に登用していきたい。

問 わた溪とわたらせフィルムコミッション、わたらせアートプロジェクトとの連携を図ってはどうか。

市長 有形文化財となったわた溪施設を活用して、文化芸術の発信拠点とできるように連携をしていきたい。団体が活動しやすい環境を整えることも我々行政の役割と思っている。

一般質問 市政を問う

Q 岩宿駅(JR)・阿左美駅(東武)駅舎を含めた周辺整備について A 補助事業で計画的に進める

伊藤 正雄 議員



都市計画部長 平成21年度までに520m、幅員10mで計画する予定である。

立てたい。
問 急行電車が停車出来るようにすべきでは。

問 4区大田んぼは、笠懸町時代にマスタープランで文教ゾーンに指定されているが、①地主農家は後継者がいなくなっている。②近くの土地が開発が進んできている。是非この機会に高等学校の早期誘致に取り組んでほしい。市長の賢明な考えを聞かせてほしい。

市長公室長 ホームが短いということもあるが、これまでも東武鉄道には要望して来ている経過である。

市長 まとまった数少ない用地でマスタープランはあるにしても、高等学校の誘致は考えていないが、工業団地も含めて検討したい。

問 笠懸小学校への隧道の安全対策、南側信号待合道路部分の拡幅整備については。

伊藤 高等学校の誘致をお願いしたい。

都市計画部長 隧道内は明かりを含めて安全対策を取っている。信号待合道路部分については、歩道を付け拡幅整備を行って行きたい。

問 駅南側道路、市場北側・国道50号への道路、信号機付交差点整備計画について確認したい。

問 駅南側道路、市場北側・国道50号への道路、信号機付交差点整備計画について確認したい。

都市計画部長 岩宿駅町づくり補助事業を使って、平成21年度には信号機付、交差点を含め、幅員10mで完成予定である。

問 阿左美駅構内、周辺整備計画について。

市長公室長 具体的な計画になっていないが、隣地の方で代替地があれば協力するとの話もあり、将来のアクセス道路拡張計画もあるので県とも協議し、計画を

問 駅北側信号機から東側JR踏切までの整備について確認したい。



▲岩宿駅

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。

Q 平均8792円の国保税値上げ凍結しては

A 将来を考えると先送りできない

常見 詔子 議員



国保税は約30万円。年金や介護保険料、住民税などで約100万円。残りで生活するのは厳しい。収納率の低下になると思うが。

民生部長 危惧される。

問 一人平均8・5%、金額で8792円の国保税値上げを考え直してほしい。

民生部長 医療費の急激な伸びと被保険者数の減少や景気後退の中での税収不足を考えての税率改定だ。

問 国保には自営業者をはじめ、途中退職者や年金生活者も加入するが、所得の分布はどうなっているのか。

民生部長 国保世帯8272世帯の82%は年間所得300万円以下の世帯であり、所得ゼロでは26%の世帯となる。

問 試算によると40歳代4人家族の300万円所得の

問 収納率91%で算定しているが、国の調整交付金の減額分を保険税に計算して課税している。未曾有の不況の中で沢山の失業者が出ている。年金も減らされている。負担額ばかりでは払いたくても払えない。値上げを凍結する考えは。

市長 心情的には心配。政策的には国保も大事だが他のやらなければならぬ事もたくさんある。滞納者の立場に立った対応で、収納率の向上と滞納額を減少する。

問 県下12市の中で高崎市前橋市に次いで、第3位の財政調整基金（平成19年度49億480万円）を取り崩しては。

市長 3位の財調基金を取り崩す考えもあるが判断に迷う。みどり市の財政は比較では良いが、将来を考えると今回の改定を先送りできない。

みどり市民体育館の利用と課題

問 1月から市民体育館の

利用が開始されたが、個人登録者の状況は。

教育部長 1月末で1007人。市内742人、（笠懸町630人・東町7人）市外は265人がトレーニング室の利用登録をしている。

問 体育館の目指している生涯スポーツ、健康増進などを大間々・東地区にも広げてほしい。

教育部長 関係課と相談しながら進めたい。



▲西側からみたみどり市民体育館

その他の質問
○旧果（き）小学校の問題と利活用について

Q 「電話でバス」導入に伴うバス通学の対応は

A 登下校時に合わせてバス運行を検討

椎名 祐司 議員



の内訳は。

市長公室長 現在、定期券発行人数は、小平地区の中学生35人、小学生16人、福岡西地区・神梅地区の中学生32人となっている。

問 「電話でバス」導入後、バス路線で通学している児童・生徒への対応は。

市長公室長 朝は小平を出発し、福岡西地区を経由し、大間々中学校まで運行する

便を1便。帰りは、福岡中央小を出発し、小平方面へ帰る便を1便。大間々中を出発し、福岡西方面を経由し、小平方面へ帰る便を2便検討している。今後、夏休みや休日についても検討していきたい。

問 大間々保育園は、駐車場用地が少なく、保育士の駐車場は別の場所を借りて使用していたが、その場所

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



荻野 忠 議員

行政評価制度の導入はまだか A 本格的に取り組む

問 合併後、行政評価制度作りを取り組んでいたが、市や市民のために早く導入すべきでは。

市長公室長 事務効率や公共事業の質の向上に役立つことは理解している。新年度は本格的に取り組みたい。

問 委託費1000万円が

計上されているが、職員が作れないのか。

市長公室長 仕組みが十分理解できていないためコンサルへの人件費である。

問 町村の時は職員数も少なかったが、合併後は、専門職も増えた。なぜ導入が遅れているのか、スケール

アップが余りあがっていないが、専門職対策も積極的に対応していく。

問 わたらせ渓谷鐵道の夢切符だが、平成17年10月から発売、平成18年9月に販売を中止。平成17年の売り上げ目標枚数は、2万2000枚、売り上げ実績3922枚。平成18年は、2万5000枚目標のところ、1622枚の売り上げだった。思ったように売れないので廃止しましたといった甘い事業計画でいいのか。

事後評価をし、これからの事業や経営に役立たせるべきでは。

市長公室長 乗らない方たちに支援をしてもらうこと

- 全国学力テストについて
- 1：目的と経緯
 - 2：公表問題と情報共有の課題
 - 3：相対評価の必要性は
 - 4：教育現場の負荷は
 - 5：今後の対応

が目的であったと思うが、このことで赤字になったと反省している。

問 導入しようとしている「電話でバス」だが、評価項目ごとの運行概算資料はできているのか。運行見直しなどのためにも事前評価は重要では。

市長公室長 導入後、目的達成できたか、費用対効果など検証していく。

その他の質問

も使用できなくなる事態が生じ、運動会をはじめ様々な行事に支障が生じる可能性があるが。

民生部長 現在、大間々南小学校用地の一部を駐車場用地にということで、教育委員会総務課と協議中である。できる限り子どもの送迎や園の運営に支障がないような形で駐車場等を確保していきたい。

問 二葉保育園は、昭和47年に建設された木造平屋建ての園舎であり、老朽化した園舎の問題が深刻化している。東保育園は、保育園

用地の賃借料を含めた運営経費の問題がある。こうした状況を考えた場合、保育園の統合や移転等、新規設置も含めた保育園の将来計画を検討する必要があると思うが。

市長 二葉保育園、東保育園の統合移転の問題は避けて通れない問題である。協議をしていく過程の中で、統合や現状維持の色々な選択肢があるが、子どもたちにとってどうかをまず第一である。その中で、総合的に話し合いながら方向性を見出していきたいと思っ



▲電話でバス

いる。

その他の質問

○地域づくりのインターン制度について

○市民憲章の普及啓発につ



▲わたらせ夢切符

Q 高齢者、生活弱者の相談支援の充実を

A 対応を検討していきたい

高草木 良江 議員



市長 もちろん変わっていない。先日東京にある財団法人から「プールの温泉センターを補助金でどうか」との話があり、参考意見として今聞いている最中。決してあきらめている訳ではないのでご理解をいただきたい。

問 総合福祉センターの設立は合併の話し合いの中に

出てきており、大型のハコ物は、笠懸は総合社会体育館、大間々は総合福祉センターと議員のみでなく市民の間でも認識していたが整備の考えは。

民生部長 地域福祉計画と健康増進改革の策定の状況を見て再度、総合福祉センター構想の検討をして行く。

問 平成18年度の定例会で市長の「けしてあきらめていない訳ではない。構想を変えてでもいい知恵を出していきたい」との考えは変わっていないか。

問 企業誘致で何か優遇策は考えているのか。

産業観光部長 企業誘致研究会を立ち上げ候補地の案や優遇策の検討をしている。

問 市長の企業誘致についての詳細と展望を。

市長 企業誘致のポイントが心の癒しと、みどり市しかできない産業ということ、動物の緊急高度医療センターを提案した。今後は民間レベルで準備室を立ち上げ、最初は夜間緊急診療から始め、動物ペットの関連産業は全国に2兆円産業ほどと言われているが、その内の1%でも5%でも、

みどり市が取れるような産業にしたい。市への経済波及効果を期待している。もちろん雇用も発生し全国から人も来る。情報発信もしていきたい。出来る所から始めたい。

問 土日や庁舎が休みの時の相談窓口を明確にし、整

Q 未登記地対策

A 交渉が難航

大澤 映男 議員



問 昨年度、1000件近くあった未登記地の件はどうなっているか。



▲大間々保健センター



▲東保健センター



▲笠懸保健センター

備する必要がある。高齢者や生活弱者の相談支援の充実を。

民生部長 他市の状況も参考に対応体制を構築していきたい。ただ、24時間体制は人員体制等もある。市が自主的にやれる部分を精査

する必要がある。高齢者や生活弱者の相談支援の充実を。

し、指摘の通りの対応を検討していきたい。

その他の質問

○介護慰労金の拡大について
○国の鳥獣害防止補助の活用を

都市建設部長 986件の内、一月現在で調査済が242筆、内訳は分筆済166筆、分筆なし76筆、登記

処理を終えたのが61筆。協議中46筆。未処理の多くは40年以上が経過し相続人が多数に渡り、時間がかかる。また、何十年も支払った道路分の税金を返して欲しい、など交渉が難航している。

問 大変なことはよく分かるが、今後解決するのにはどの位、時間が必要か。

都市建設部長 相続人が行方不明、財産争いなどの問題を抱えているが、基本的には5年間で処理したいと思う。しかし、ものによってはもつとかかるケースもありそうだ。

問 岩宿駅前開発として近隣の駅が改修され、各駅前も整備されたが、岩宿駅は

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



古田島 和茂 議員

Q 特別養護老人ホームの増床 A 整備の必要がある

問 特別養護老人ホーム入居待機者は市内にも相当数いる。常時介護を必要とする者を持つ家庭は困窮しているが対応は。

民生部長 市内当該施設の床数は130床。待機者数は187名である。今後の高齢化率を見るとさらに増

えるものと推測される。計画整備はしていかなければならない。

問 国民皆保険のもと、入居者と待機者が出ることは不合理、市はこの解消策に特化すべき。

市長 一刻を争う問題である不公平感を持たれない政

策が必要である。増床には県プランもあり整合性を図り整備していく必要がある。第5期計画の情報収集を密にし体制づくりをしていく。

古田島 市民の皆様にも都合があれば解消するのが市政の役割。特養入居待機者解消は喫緊の課題である。

問 合併前より引きずる、小跡地問題は解決するのか、その後の有効利用はなされるのか。

総務部長 第3者に無償で貸している部分があるが目的としての事業効果が認められず契約満了に伴い再契約はしない。地権者との協議は整うものと思う。有効利用については解決を優先し考えていく。

問 早期に望む。市有地、私有地を合わせれば広大な敷地となる。環境の整ったこの地は有効利用できるはず、福祉施設等誘致も視野に入れておくべき。

温泉センター再開は

問 わたらせ渓谷鐵道が営業不振を理由に休館したこの施設の経営権移譲先は、また再開は。



▲かさかけの里

昔のまま。南口に改札口も作る考えがあるのか。

市長公室長 JRは現在、駅舎の整備は考えていない。しかし、南口を開設する事が地域の発展、振興になるなら考えて行きたいと思う。

問 岩宿駅ホームには小さな待合室しかなく雨天時には大変不便に感じる。まず初めにホームに屋根付きの待合室を作る方向にはならないのか。

市長公室長 確かに悪天候の時は不便だと感じる。しかし駅の中には機械機器等が埋め込んであると聞くの

で、工事がどれ程影響を与えるか、費用がどれ位必要かも全く掴めない、費用対効果として必要かどうかもあるかなければならない。

問 北口だが朝、通勤通学時に大変混雑する。徒歩、自転車、車が一度に集中し大変危険な現場を目撃したが、構内の広場をロータリーにするか道路を拡げるとできないか。

総務部長 わたしも今朝、30分位見てきたが、逆に狭い方がそれぞれの安全運転をしている様と思う。事故は昨年度で3件だったと聞



▲岩宿駅の様子

く。

大澤 「1年で3件だった。ではなく、「3件起きてからどうにか対処しよう。」という意気込みが必要ではないのか。

古田島 市民の皆様にも都合があれば解消するのが市政の役割。特養入居待機者解消は喫緊の課題である。

問 合併前より引きずる、小跡地問題は解決するのか、その後の有効利用はなされるのか。

総務部長 第3者に無償で貸している部分があるが目的としての事業効果が認められず契約満了に伴い再契約はしない。地権者との協議は整うものと思う。有効利用については解決を優先し考えていく。

問 早期に望む。市有地、私有地を合わせれば広大な敷地となる。環境の整ったこの地は有効利用できるはず、福祉施設等誘致も視野に入れておくべき。

温泉センター再開は

問 わたらせ渓谷鐵道が営業不振を理由に休館したこの施設の経営権移譲先は、また再開は。

市長公室長 同社が公募し経営計画書提出者は3者であつたが現在実現性の高い1社と再開に向け協議中。賃料については固定資産税相当と思われる。5月連休前の再開に向け見通しが立ったと聞く。

問 みどり市入込客の増にも寄与する施設であり、わたらせとの相乗効果もある。再生協としての関わりは。

市長公室長 協力はおりません。わたらせ再生に向けても観光客の増にも期待する。

Q 子ども議会を開催したらどうか

A 開催に向けて考える

上岡 克己 議員



問 本市に生まれ育ち、これから担っていく小学、中学生らに自由に意見を開陳する機会を与え、市政や社会への関心、理解を深め、郷土愛を高めるため子ども議会の開催をしたらどうか

教育長 行政や議会の働きを知るだけでなく、自分達が住んでいる地域を見つめる良い機会になると思う。

総務部長 子ども議会の体験を通して、議会のしくみや、市政への関心を育む良い機会だと思うので、開催に向けて考える。

市長 やるからには、何のためにやるのか、その目的

をはっきりすべきと思う。また、市長だけが答弁するのではなく、子ども達が、議員に質問するなどユニークなものも考えられる。

問 子ども達の学校への携帯電話持ち込みについてどう考えているのか。

教育長 市内の小学校では、学習に必要なもの以外は、持つてこないよう指導している。当然、この中に携帯電話も含まれている。中学校では、携帯電話の持ち込みは禁止している。しかし少数ではあるが、登下校時の連絡用として、親からの申請のみ認めている。

問 メールやネットを使いたいじめの増加防止対策は。

教育長 保護者、学校、地域が実態を理解し、情報を共有して携帯やインターネットの正しい使い方を指導していく。持たせる時は、親が責任を持ち、納得いく約束のもと、プロフや学校

問 サブプライム・ショックの影響で市内の中小企業への、第2弾緊急経営安定



小内 信一 議員

化資金の追加の検討は。産業観光部長 年末年始で3億円近い申込みがあり、現在では申し込みを打ち切っている状態だ。第2弾として、前回の融資残額約6000万円を含め、3億円の融資枠を新たに設けたい。当初1億円の予定だったが、金融機関との現状把握し協議して、足りないと判断した。

問 急激な景気悪化で、住民税の調定見込みについて、平成21年度の個人分、法人分の見込み額はいくらか。

総務部長 平成20年度の最終調定は、個人住民税は23億9194万8000円、法人税は4億4390万7000円で見込んでいる。これは対前年度比個人住民税が100・5%、法人税が99・2%であり、全

Q 緊急融資枠の追加を A 3億円の融資枠にした

サイトの中に悪しきものがあるかないかなど早期発見に努め、未然に防ぐことが大切である。

問 やさしく、誰にもわかるような約束事を各家庭に配ったかどうか。

教育長 わかりやすく、理解していただけるような文

面で送る。

問 新学習指導要領が変わって、今後の学校の対応について。

教育長 情報通信ネットワーク上の活用に加えて、新たに情報モラル教育がつけ加えられた。小学校では、道徳の時間に、中学校では技術の時間を利用して、その場しのぎにならないように更に充実していく。



▲桐生市子ども議会

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



杉山 英行 議員

Q 環境基本計画の取り組みは A 条例制定は6月議会に予定

体では100・3%になり
 昨年の調定額をわずかに上
 回る見込みだ。平成21年度
 の個人住民税の調定見込み
 は23億1390万6000
 円、法人税の調定見込額は
 3億7732万円とした、
 金額にして1億4152万
 9000円の減額の見込み
 だ。

問 雨水対策についてお伺
 いする。昨年は各地で局地的
 に大雨が発生し大きな被
 害が出た。市として大きな
 災害に対して対応は万全か。
都市建設部長 東町は昨年
 小河川が増水して、民家に
 近いので1度だけ避難勧告
 を出した経緯がある。大
 間々町では増水はあったが、
 大きな被害はなく第2次雨
 水環境改良工事が完了出来
 れば、ほぼ整備が整う。笠
 懸町の東南地域では大正用
 水まで引いてある、あと2、
 3年で石田川流域整備事業
 の形が見える。問題は流末



▲調整池

河川がない、両毛線以南の
 鹿、久宮地域の今後だが、
 県が10年計画で県土整備地
 域プランのワークシヨップ
 で笠懸地域課題として強く
 要望した。

問 取り組み状況を。計画
 策定済み市町村数は。
市長公室長 平成20年10月
 に2500人にアンケート
 実施、40%の回収率である。
 策定済み町村は11市と4町
 である。

問 条例制定の時期は。
市長公室長 6月議会に予
 定。
問 審議会の在り方は。
市長公室長 学識経験者と
 公募委員は概ね4名で委員
 数は20名で構成して報酬も
 他の審議会と同様に扱う。

問 情報公開は。
市長公室長 環境通信とし
 て年4回発行。概要書を全
 世帯に配布。
問 廃食用油の実施状況と
 回収方法は。
民生部長 平成20年6月よ
 り730ℓを各庁舎と笠懸
 公民館に回収箱を設置して
 回収し、公用車1台に燃料
 として使用中である。
問 学習活動の取り組みと
 して学校に回収箱を設置で
 きないか。
教育部長 可能であり、回
 収できると考える。生きた
 環境学習の教材になるので
 実施する方向で考えている。

問 耕作放棄地の解消の支
 援策は。
産業観光部長 支援は国の
 支援内容が単年間、短い期
 間であるような気がするの
 で、詳細を調べたい。また、
 所有者の意向も確認してい
 くが、事業が解消の弾みと
 なるものであれば取り入れ
 ても良い。



▲廃食用油回収ボックス

Q 不妊治療の助成拡大を

A 他市の状況を見ながら

蓮 孝道 議員



必要な夫婦はより積極的に治療に臨めるのでは。

民生部長 県内他市の状況としては、1年間に1回助成が11市、2回助成が1市、助成通算2年が3市、3年が7市、5年が1市。上限額5万円が4市、10万円が8市である。

問 市の不妊治療費助成の内容と過去の申請者数は。
民生部長 市では不妊治療に対し、年1回、通算3年まで年額10万円を限度として、夫婦負担額の2分の1までを助成する。県の特定不妊治療費助成と併用する場合は、県の助成額を差し引いた額を対象とする。

平成19年度は26名、平成20年度は19名が不妊治療費助成を受けた。
問 不妊治療費は、内容や治療回数によって異なり高額である。回数制限や上限額を定めず、治療費に対する割合だけで助成した方が

プライバシーの保護の観点に留意しながら、市の広報誌を使って県の事業と共に掲載をしている。また、ホームページでも事業の内容を伝えている。

県の事業として、不妊専門相談センターがある。このセンターの案内も市とし

Q ゴミ収集袋の値下げは

A 4月より値下げ検討中

宮崎 武 議員



問 ハケン切り対策として保証人の要らない法外援助資金の拡充等を推進し、仮

て取り組んでいるが、あらゆる機会をとらえて積極的に発信していきたい。

非常にデリケートな問題なので、市として個別の相談体制を用意できるように人材育成にも取り組んでいきたい。

その他の質問

○山間地域での光ファイバーを利用したインターネット整備について
○ストックマネジメントについて

称緊急離職者生活支援資金貸付窓口の開設の考えは。

民生部長 市民に生活に関する問題として重要と思っている。検討したい。

宮崎 ハケン切りにあった場合まずは資金、住宅の確保、職の確保の順になってくる。補助金枠を増やす等援助体制を要望しておく。

問 昨年暮れに実施した緊急制度融資3億円は、要望

群馬県特定不妊治療の指定医療機関

指定医療機関	所在地	指定医療機関	所在地
神岡産婦人科医院	前橋市	高崎アートクリニック	高崎市
群馬大学医学部附属医院	前橋市	ときざわレディースクリニック	太田市
横田マタニティーホスピタル	前橋市	光病院	藤岡市
上条女性クリニック	高崎市	公立富岡総合病院	富岡市
セキールレディースクリニック	高崎市		

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



鍋木 豊 議員

Q 桐生市との連携とその先に見ているものは A 合併が第一義ではない

問 桐生・みどり市連携推進市長会議の回が重ねられる度に多くの事項が統一的に運用され、両市の市民サービス向上に向け合意がなされている。本市との早期合併を望む声が桐生市の多くの団体から寄せられているが。

市長 合併ありき、合併を第一義としているものではない。
鍋木 元々の桐生市が面積で137・47平方キロメートル、新里・黒保根町の新しい桐生市が137・10平方キロメートル、その間に本市が208・23平方

キロメートル。本市が挟まれているというより桐生市をふたつに割っているのが、みどり市である。今の状況は決して望ましい状況ではないと考える。
問 超高齢化・超少子化、限界集落の声も聞こえている。大間々町北部、東町に明るい話が聞こえてこない。希望をもてるような施策は。
市長 市内全域を同じ思いで取り組んでいる。地に足をつけて上を向いて、前を向いて進んで行く。
問 群馬県総合防災訓練が本市で実施されるが、今の時点での計画の進捗よく状況は。
総務部長 笠懸町の桐生競艇場の駐車場を会場として9月12日が実施日で5日にリハーサルを行う。関係機関との細部にわたる調整や打ち合わせはこれからになる。



は給付したい。
問 昨年暮れから要望していたプレミアム付商品券についての考えは。
総務部長 商工会とも連携し実施する方向で対応。
宮崎 生活支援、景気の活性化を推進する定額給付金。みどり市内も消費の底上げを図るアイデアを出していかなくてはならない。
問 昨年4月から値上げしたごみ収集袋だが、ナフサ価格が上がったから上げたものでナフサ価格が下がった現在、上がったままでは市民に対して説明が出来ない。

民生部長 下げる方向で検討中、4月から値下げしたい。
宮崎 住民の日常に関わる負担を増やす場合に十分な検討をお願いしたい。
問 母子父子家庭医療費についていつまで所得制限をかける続けるのか。
民生部長 早期に検討し母子父子家庭の負担軽減を検討したい。
宮崎 母子父子家庭のかいがいしい努力を無にするような所得制限を取り除いて近隣市のレベルに合わせなくてはならない。



くってはならない。
市長 大きな施策の変更ではない。早期に検討する。
問 何度も要望しているマタニティマークだが何時になったら設置するか。
民生部長 桐生市とも協議の中で本年4月1日から実施していく。
方 キロメートル。本市が挟まれているというより桐生市をふたつに割っているのが、みどり市である。今の状況は決して望ましい状況ではないと考える。
問 超高齢化・超少子化、限界集落の声も聞こえている。大間々町北部、東町に明るい話が聞こえてこない。希望をもてるような施策は。
市長 市内全域を同じ思いで取り組んでいる。地に足をつけて上を向いて、前を向いて進んで行く。
問 群馬県総合防災訓練が本市で実施されるが、今の時点での計画の進捗よく状況は。
総務部長 笠懸町の桐生競艇場の駐車場を会場として9月12日が実施日で5日にリハーサルを行う。関係機関との細部にわたる調整や打ち合わせはこれからになる。

定した実効性のある訓練計画を望む。
問 太田藪塚ICは本市にとっても直近のインターチェンジである。市民や本市を訪れる方々から、どこのICで降りたらいいのかわかりにくい。「みどり」の名称を入れてほしいとの声が多く聞こえるが。
都市建設部長 現実的には難しいと思う。ICを降りてから本市に至るまでの誘導案内について検討したい。
その他の質問
○本市におけるソーシャルビジネスの認識について

Q 市の中長期財務推計資料公開を

A 地方予算削減の対応に市民の参画で

原田 好雄 議員



問 一級河川のない笠懸町は、雨水排水は要所に調整池の設置で対応しているが、特に県道世良田線西側は現在、県・国の事業化もなく、岡登用水への放流もむずかしい状況がある。アクセス道の笠懸西部幹線の道路側溝を使つての雨水排水対策の事業化の見通しは。

都市建設部長 西部幹線は都市計画決定後、新年度で測量、用地買収に向けての若干の県予算をつけている。今後市の要望事項などを含めた具体的計画を協議し、地元への説明会の開催が重ねられる。杉菜原、久

宮、桃頭地区では雨水排水の放流先がない状況は承知している。県は、今後地域の課題として何を取り組むべきかということで、県土地域整備プランを作っている。その中で、河川のない地域の実情について説明している。県としても理解してもらっていると思う。質問の要旨にそつて県とも協議していきたい。

市長 最近の集中豪雨時はひどい。冠水の状況は由々しき問題だ。事業費とも関連するが県や国とも連動して取り組んでいきたい。インフラ整備が後手に回ってきたことは否めない。これからはきちんと推進したい。

問 笠懸町では、地域総合整備事業債という地方債を使つて岩宿資料館、文化ホールなどを造つてきた。償還の7割が後々交付税算入される話だったが、償還が終わつてどうだったか明らか

かにできるか。
総務部長 国の算定方式で総体としてくるので区分けはできない。
問 後年度交付税算入方式の地方債は今も多い。市の中長期の財務状況がどう展開するかが分かりづらくなっている。その基礎資料は

市民も共有化するために情報公開が必要では。

市長 財政は市民と共有すべき。専門的な点が多く、分かりづらい。分かりやすいものに。国の予算がどんなに削られていく中で、どうしたら知恵を使つて工夫したらよいか執行部だけでは完結できない。そのため

の情報をオープンにしながら参加してもらう方法、ついでに参画できるものを考えていきたい。

Q 笠懸幼稚園での3才児保育は

A 平成22年度実施への準備を進める

新井 巖雄 議員

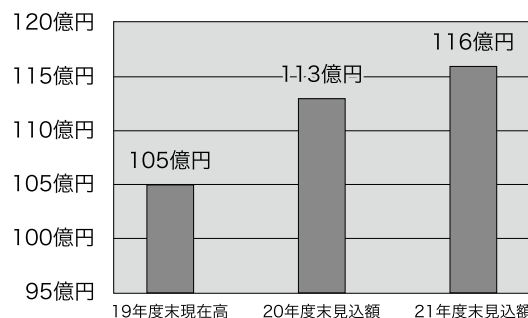


教育部長 平成21年度から実施に向けての準備を始める。8月頃までに方針を決定しないと、平成22年度の募集がむずかしくなる。

問 職員体制はどうする。
教育部長 3才児保育は、経験を積んだ教諭が保育にあたるのが適切と考える。

問 公立の維持か、民営化かという問題もあるが、公立幼稚園は3才児保育を行

地方債（市借入金）残高、見込額の推移



一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。

立1園は必要と思うが。
教育長 責任ある教育行政を推進する意味でも、公立幼稚園の存在は非常に重要だと思っている。

市長 公立の良さ、私立の良さ、それぞれを生かしながら特色ある教育をしたい。

市民の健康増進策

体育館の活用

問 有酸素運動や筋肉トレ



坂本 正幸 議員

Q カモシカ傷害事件・人命を最優先すべき A 特別天然記念物・ルールの範囲で対処したい

問 庭先の婦人を襲ったカモシカによる傷害事件は人命に係る緊急事態、新たな被害者が予想される中、数日間対応策が遅れた。県担当課・みどり市において事の危険性と緊急性に対する認識と判断が緩慢、市民の安全を最優先すべき危機管

理 体制が機能していない。市長 法的には、所有者のいない獣による被害の損害賠償は請求できないと思う。特別天然記念物の場合、駆除はできないと思う。ルールの範囲内で早急に対策を考えていきたい。

坂本 食害対策では保護管

問 北部・過疎地域において交通対策は深刻な死活問題となっている。この状況を憂慮した市民組織「グループ28」により過疎地移送サービスを立ち上げ交通弱者のため活躍している。しかし、奉仕的要素が高く特殊な資格が必要なことなど、人手不足で要望に対応しきれない現状にある。今年度開始する公費で運営するデマンドバス事業（東町を除く）と、ボランティア要素の高い既存の移送サービス事業の利便性・利用者料金に格差が生じ、同一市内において公平感に欠けると思



▲有償移送サービス車両

その他の質問
○婦人消防隊解散の真相と過疎地の防災体制について。
○限界集落の現状と、県と連携した政策について。

ーニングを行うことで、医療費を軽減できる。新体育館を市民の健康づくりに活用するために、保健センターとの連携による健康教室などを行ってほしい。
教育部長 民生部と相談して効果的に進めていく。

地区公民館・集会所の活用
問 簡単に自宅でもできる体操や筋トレなど、健康サロン活動を進めるべきだ。大間々地区での開催が少な

問 健康づくりの具体化への取り組みは。
市長公室長 いくつかの部署にまたがっているが、それをいかに有効につなげるか、調整会議を持つなど、平成21年度に取り組みたい。

疲弊する山間地域対策
問 北部・過疎地域において交通対策は深刻な死活問題となっている。この状況を憂慮した市民組織「グループ28」により過疎地移送サービスを立ち上げ交通弱者のため活躍している。しかし、奉仕的要素が高く特殊な資格が必要なことなど、人手不足で要望に対応しきれない現状にある。今年度開始する公費で運営するデマンドバス事業（東町を除く）と、ボランティア要素の高い既存の移送サービス事業の利便性・利用者料金に格差が生じ、同一市内において公平感に欠けると思

市長公室長 移送サービスについて詳しく聞いていないが利用負担に差が出るとすれば十分考えなくてはならない。東町に合う方法を研究してみたいが今の方式で出来る限り支援していければと考えている。
坂本 本来行政が全面支援すべき効率性の悪い過疎地域の交通対策を、市民グループに頼っている現状、過疎地有償移送サービスと、新年度開始するデマンドバスとの格差・不公平感をなくすよう最善の対策を。



▲笠懸幼稚園



東町
斎藤美伊子

子ども達のために

子ども達は、社会全体の大切な宝です。

育成会は、子ども達の健全育成のために、地域の皆さんと協力して活動しています。市子育連では、市内の子ども会育成会と連絡協調を図り、活動の向上発展のために、インリーダーキャンプ、育成者研修、スポーツ大会、上毛かるた大会を実施しています。市子育連も4年目となります。歴史と伝統のある三町の子ども会育成会をまとめるのは、ちょっと大変ですが、育成会の皆さんの理解と協力を頂き子ども達のために頑張ろうと思っています。増々の子ども会活動充実のために、議会の温かい理解と支援をお願い致します。



笠懸町
吉田三保子

少しの努力でゴミの減量化

私は、笠懸町に越して10年になります。毎年、6月頃のが家から一望できる大たんぼの田園風景が大好きです。今年も、この風景を見ることができ農家の人にあることがとうと心の中で叫んでいます。

又、増える家庭ゴミに年々不安を感じています。プルトップ集め、古着はウェス、マイバック等、物を捨てる前にこれは何か再利用できるかを考えて捨てています。

指示通り細かく分別をしゴミの量を減らす努力をしているつもりですが、一人の少しの努力でゴミの減量化ができれば喜ばしいことではないでしょうか。そして、きれいなみどり市になって行けばと思っています。



大間々町
岩崎 哲也

次世代を見据えたまちづくりを

私は桐生で育ちましたが1年半ほど前に大間々町に越して来ました。

実際に住んでみると、相生町から新里町へ通過する県道沿いを中心に生活に不自由しない店舗が色々あり、使い勝手が良く住みやすいと感じました。

一方では、店舗も少なく日常生活や通勤・通院・通学等、様々な点で不便を感じている市民も沢山いることも事実だと思っています。

みどり市に求めることは若者の就職の際、市外に出なければならぬ現状にあります。雇用の斡旋に力を入れたり、公園・フリースペースなどを考えていただき、みどり市で次世代まで生活していけるようなところに目を向けていただきたいと思います。

編集後記

「議会だより」はその名の通り、議会のニュースを伝えるのであって、議員活動をPRするための「議会だより」であってはならないと思う。地域の人々は議会のみどり市の予算はどう決められているのか、どう審議されているのか、条例はどうして変えられたのかを知りたがっている。はっきり言って、議員の活躍ぶりは二の次である。

われわれ議員が発行するのだから、議員活動より議案の審議を最優先にすべきと思う。議会でのいろいろなニュースを地域の人に伝えたい。その中に議員活動も含まれるという姿勢が大切であると考えている。それが議会だよりの原点ではないか。

(上岡克己)

編集委員

委員長	蓮 孝道
副委員長	鐔木 豊
委員	宮崎 武
	坂本 正幸
	原田 好雄
	新井 巖雄
	金子 實
	上岡 克己

次回定例会 (予定)

6月9日(火)から 午前9:30~

皆さんの傍聴をお待ちしています。
問い合わせ ☎76-1970